

恩給ノ額ノ
並請求

第五十三條以下ノ諸條ニ開列スル所ノ方法ニ準
スヘシ

第八十五條 其上長官士官准士官並ニ會計軍醫馬
醫軍樂各部右同等ノ輩軍紀ヲ犯シ懲治ノ爲ニ罷
役ニ入ル者恩給ヲ賜フノ例ニ在ラス

第八十六條 恩給ヲ受クルノ始期ハ左ノ如シ
第一 計算ノ告示ノ日ヨリ之ヲ給ス即チ陸軍ノ
簿籍中該名ヲ除クノ日ナリ

第二 計算告示ノ日既ニ休暇ニ在ル上長官士官
准士官並ニ會計軍醫馬醫軍樂各部右同等ノ輩

三十三
千葉縣

ニハ許可ノ令下ル日ヨリ之ヲ給ス其隊ヨリ發
程シタル何ノ日ニ在ルヲ論セス

若當該上長官士官准士官並ニ會計軍醫馬醫軍
樂各部右同等ノ輩休暇ノ俸ヲ受ケタルモノハ
恩給ヲ受ルノ日ヲ限リ休暇俸ノ餘金ハ陸軍省
ヘ返納ス

第三 下士以下モ亦前條ニ同シ其休暇俸ハ之ヲ
願フノ權利ナレ

第四 當該軍人死去シタルキ家族扶助料ハ其死
去ノ翌日ヨリ給ス

第八十七條 凡テ恩給並ニ扶助料ヲ受クルノ始期ハ陸軍省ヨリ内務省ヘ通報シ四季ノ首月毎ニ前三箇月分其府縣廳ヨリ金額ヲ支給ス

第八十八條 金額ヲ受領スル者ハ當該人名ニテモ代人ニテモ登錄寫帖ノ證書ヲ持參シ支給人披見ノ上其區戸長ヨリ出セル本人存生ノ證書並ニ金額受領證書ト引替ニテ之ヲ交付スヘシ但シ外國ニ在留セル其本人存生ノ證書ハ日本ノ公使若クハ領事官ヨリ差出スヘシ

第八十九條 若シ金額ヲ受ル當該人名前三ヶ月以

三十四 千葉縣

來死去シタル時ハ支給人戸長ヨリ出セル死去ノ證書ニ對シ日割一ヶ月三ヲ以テ其金額ヲ給シ受領證書ヲ取り其權利消絶ニ屬シテ移轉ナキ者ハ其登錄寫帖ノ證書ヲ收メ府縣廳ヨリ内務省ニ還付シ而シテ陸軍省ニ報告スヘシ

第九十條 其權利未タ消絶セスシテ移轉ニ屬スル者ハ登錄寫帖ヲ還ヘシ其寡婦若クハ孤兒扶助料顯出ノ証トナサシム

第九十一條 恩給番號登錄寫帖ノ證書ハ其裏面ニ四首月ノ金額ヲ記シタル者ナリ若シ恩給ヲ受ルノ

人其證書ヲ盜難水火災等ニ失亡スル時ハ速カニ届ケ出ヘシ然ル時ハ猶第三寫帖ヲ受ルコトヲ得ヘシト雖モ第二寫帖ヲモ失亡スル時ハ最早之ヲ受ルコトヲ得ス其恩給ハ唯生存ノ証書ノミニ就テ之ヲ給スベシ

第九十二條 若陸軍恩給ヲ受ルノ人其本管即チ証書中記載ノ地ナラスシテ他府縣ニ就テ金額ヲ受領セント欲スル者ハ此事ニ就テ其府縣廳ヲ歴テ出願スヘシ

右願書ハ四首月ノ一日ヨリ二箇月前ニ出スヘシ

三十五 千葉縣

此期限ヨリ遅延ニ及ヘハ従前ノ府縣廳ニ就テナラテハ之ヲ受領スルコトヲ得ス

第九十三條 日本外ノ地ニ寄留ノ許可ヲ願フハ地方官憲ノ手ヲ歴テ内務卿ニ願フヘシ其願意至當ナレハ内務卿ノ處決ニ因テ恩給若クハ扶助料一箇年分ノ前借ヲ許スヘシ

第九十四條 前四條ニ掲示セル所ニ拘ラス恩給並ニ年々ノ扶助料ハ一ケ年ノ間棄置キ請求セサル時ハ大藏省ノ恩給簿ヨリ之ヲ削リ去リ再ヒ請求スト雖モ前時ノ金額ヲ得ルノ權ナシ

權利ノ絶

又寡婦孤兒等當該軍人ノ死去ノ日ヨリ一箇年ノ
間其事狀ヲ審カニシテ顯出サル者ハ其權利消絶
ニ屬ス

第九十五條 陸軍恩給ノ計算金額ニ就テ違算ノ廉
アリト思フ時ハ初メテ金額ヲ受領セシヨリ三
ヶ月以内ニ之ヲ顯出ルヲ得ヘシ但シ萬一粗漏ニ
屬スル時ハ其權利消絶スヘシ
右ノ請求ハ地方所管領事司契課ノ手ヲ歴テ陸軍
卿ニ願フヘシ

第九十六條 凡ソ恩給ヲ仰ク者故ヲニ年月ヲ算ス

三十六 千葉縣

ルニト買ナラス或ハ傷痍疾病ニ托シ或ハ寡孤ナ
リト偽ハル等上告買ヲ以テセサル者ハ國成典ア
リ其發覺該官致仕ノ前ニ在レハ軍法ニ處シ致仕
ノ後ニ在リ若クハ其他ノ者ニ係レハ常律ニ處ス
ヘシ

50

陸軍恩給令附録

第一條 陸軍軍人恩給ヲ受ルノ權理ハ本令ニ揭載スルノ外コレナレト雖モ戰死或ハ公務ニ因テ死亡スル者父母或ハ幼少ノ弟妹ノミ在テ之ヲ養育スル親戚モナク飢渴ニ及フヘキモノ其府縣廳等所管ニ於テ查覈ノ上恩給令第六十九條ノ順序ヲ歴テ申告スルコトアラハ其次第柄ニ因リ臨時ノ詮議ヲ以テ相當ノ扶助料ヲ給スルコトアルヘシ
但寡婦孤兒ノ内ニ扶助料ヲ受ルモノアルトキハ別ニ之ヲ給スルコトナシ

第二條 軍屬ハ恩給ヲ受ルノ權理ナレト雖モ戰地或ハ公務ニ因テ傷痍ヲ受ケ又ハ死亡スルキハ其原由ニ因リ臨時ノ詮議ヲ以テ相當ノ扶助料ヲ給スルコトアルヘシ

第三條 軍人停年未滿ニシテ恩給並罷役俸罷役恤金ヲ受ケサル者ハ當分従前ノ如ク文官一般ノ滿年賜金ヲ給ス但罷役俸罷役恤金ヲ受ルモノト雖モ滿年賜金ト比較シ其金高ノ多キ方ニ就テ給スヘシ

第四條 恩給並罷役俸罷役恤金ヲ受ルモノト雖

モ其軍人ノ籍ニ列セザルノ前文官ニ奉仕スル者
ハ其年數ニ應シ滿年賜金ハ別ニ給スヘシ
第五條 本令發行ノ日ヨリ傷痍扶助及ヒ死亡ノ者
祭筵家族扶助概則ハ廢止ニ屬スト雖モ發行以前
傷痍死亡ニ因リ既ニ扶助ヲ受ルモノハ從前ノ規
則ニ擬フヘシ

陸軍武官恩給												
陸	軍	武	官	恩	給	等	扶	助	料	諸	卒	等
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三
等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等	等
千六百圓	千四百圓	千圓	八百圓	六百七拾五圓	五百圓	三百七拾三圓	貳百六拾七圓	貳百拾四圓	百七拾壹圓	七拾九圓	七拾四圓	六拾壹圓
最	上	限	最	下	限	最	下	限	最	下	限	最
千貳百圓	千〇五拾圓	七百五拾圓	六百圓	五百〇六圓	三百七拾五圓	貳百八拾圓	貳百圓	百六拾圓	百拾八圓	六拾三圓	六拾圓	四拾九圓
貳拾圓	拾七圓五拾錢	拾貳圓五拾錢	拾圓	八圓四拾五錢	六圓貳拾五錢	四圓六拾五錢	三圓三拾五錢	貳圓七拾錢	貳圓拾五錢	八拾錢	七拾錢	六拾錢
二十五年以上	ノ服役各年及	ヒ戰役ノ計算	ヨリ生スル各	年ニ當テノ増	率							

服役停年ニ就テノ恩給

寡婦孤子扶助料		罷役後恩給	罷役俸	罷役恤金
甲	乙			
戰地或ハ公務ニ因テ死シタル軍人ノ寡婦孤子	戰地或ハ公務ニ因テ死シタル軍人ノ寡婦孤子	服役十五年以上ノ者服役實期ノ年數ニ乘ス	服役十一年以上十五年未満ノ者就役年間ノ半ニ等シキ年間ニ給ス	公務中傷病ヲ受ケ一等休職ヲ得扶助ヲ仰グ者ニ給ス
八百圓	四百圓			公務中傷病ヲ受ケ一等休職ヲ得扶助ヲ仰グ者ニ給ス
七百圓	三百五十圓			但滿九年以上ノ者
五百圓	貳百五十圓			
四百圓	貳百圓	貳拾圓	四百圓	
三百三十圓	百六十圓	拾六圓八拾七錢	三百三十圓	
貳百五十圓	百貳拾五圓	拾圓五拾錢	貳百五十圓	
百八拾七圓	九拾三圓	九圓三拾三錢	百八拾七圓	
百三拾四圓	六拾七圓	六圓六拾七錢	百三拾三圓	
百〇七圓	五拾四圓	五圓三拾三錢	百〇七圓	
八拾六圓	四拾三圓	四圓貳拾七錢	八拾五圓	
四拾圓	貳拾圓			四拾貳圓
三拾七圓	拾九圓			四拾圓
三拾壹圓	拾五圓			三拾三圓
貳拾八圓	拾四圓			三拾圓

區長
戶長

管内埋葬取調ノ儀戶籍法則ニ揭載候通毎歲可多
 出儀明治七年一月縣廳第三十二號香取匝海上年三
 廳丙第七ヲ以テ相違置候處追テ何分ノ儀相違候
 迄右埋葬調ハ差出サセ候ニ不及候條其旨神官僧
 侶教導職エ可相違候此段相違候事
 但醫術營業ノ者ヨリ差出候死亡届ハ從前ノ通
 可相心得事

千葉縣

明治十年七月廿六日 千葉縣令 柴原 和

乙第百三拾三號

區長
戶長

本年縣廳甲第七拾貳號布達商賣組合取締規則第
十條第一項質品明細帳ノ綴ハ質物臺帳ヘ質品明
細記載致置候ハ、右一帳ヲ以テ兩帳ヲ適宜兼用
候トモ不苦候條質屋營業ノ者ヘ可相違候此段相
違候事

明治十年七月廿八日 千葉縣令柴原 和

千葉縣

乙第貳百三拾四號

區長
日長

建白ノ儀ニ付別紙ノ通及告諭候條其旨意ヲ敷演
擴充シテ濟ニク區内エ行届キ候様可執計候此段
相違候事

明治十年七月廿八日 千葉縣令柴原 相

別紙(別紙)ノ通

千葉縣

告諭

部内ノ安寧部民ノ保護徵稅勸業教育其他行政上ノ
得失ヲ舉ケテ建白建議スルモノ頒々有之右ハ全ク
縣治ヲ慮ルノ餘リ之ヲ匡濟セントスル厚意ニ出テ
各自其本分ノ義務ヲ盡セリト云フヘク縣治ノ爲メ
嘉尚ノ至リニ堪ヘサルナリ抑建白書ハ明治九年二
縣廳乙第三拾壹號ヲ以テ區戶長ヘ相達シ置候通り
其取捨ハ別ニ本人ニ告ケスト雖モ其議論ノ旨意則
切明詳縣治ノ要領ヲ得ルモノト認ムレハ之ヲ採納
シ利ノ應サニ興スヘキハ之ヲ異シ害ノ應サニ除ク

千葉縣

ヘキハ之ヲ除キ百ノ事項漸次改良衆人ノ意見ヲ集
メテ之ヲ折衷シ行政上其裨益ヲ得ル少ナカラス候
得共其取捨ヲ本人ニ告知セサルヨリ或ハ建議建白
ハ縣廳ニ於テ一概ニ之ヲ採用セサルモノト誤認シ
曾テ銳意建白セシモノモ志屈シ氣沮ミ爾後口ヲ箝
ミ再ヒ建言セサル哉ニ相聞ヘ候實際果シテ右ノ情
況有之候テハ縣治ノ否塞ヲ致スヘクト慨歎ノ至ニ
候條其取捨ヲ別ニ告知セスト雖モ採納スヘキハ之
ヲ採納スル次第ヲ會得シ縣治ニ對シ疑難スヘキ事
アラハ細大輕重トモ忌諱ナク建白シ縣内人民ノ幸

福ヲ保全候様可致候此段吉諭候事

明治十年七月廿八日

千葉縣令柴原

和

二
二
業
和

郵便取扱役

管内郵便往來方法并各地發着時間等之義ハ各取扱役ハ勿論管民一般熟知セサレハ開通ノ郵線充實ニシテ往來度數ノ頻繁ナルモ其往來信書ニ於ル空シク滯局等ニ屬シ終ニ意ノ如クニ達セサルノ慮書有之ニ付則別紙縣廳甲第拾四號ヲ以現時局置ノ地位其他トモ證據送候ニ付テハ各取扱役ナルモノハ殊更ニ該圖ニ注目線路貫通ノ脈絡往來方法トモ當ニ暗記シ送送信書等ノ區分ヲ誤ラ

ス郵便差出人ヲシテ大ニ便利ヲ得セシメ郵便ノ旨趣ニ悖與セサル様尙一層勉勵可取扱此段相違候事

明治十年七月卅一日 千葉縣令柴原 和



明治
十年

千葉縣乙種達

三

自八月
至九月

千葉
縣
乙種
達

三

千葉縣乙号達

明治十年

自八
至九
月
印

戸籍 乙號百三十一号	人民戸籍上加除送入籍異動届及出入寄届調 自今差出不及事	職制 乙號百三十一号	學校事務按月給旅費渡方達中更正ノ事	徴兵 乙號百三十一号	明治十一年徴兵年齡相当ノ者取調期日通可 差出事 征討從軍者戦死又ハ傷病ノ者一恩給殘存恩 給方ニ付區内ニ照渡達ス一ノ事	郵便 乙號百三十一号	勸業事務ニ関スル往後ノ文書無稅取扱ノ事	全上 乙號百三十一号	全上	兵員 乙號百三十一号	臨時召募ノ遊撃隊其他服役延期ノ処及ニ召 募ノ外延期及ハルル事 芝居其他興行初日一日預見セト唱席料ヲ取 ル趣古ハ願日數ニ加可願出事	諸興行 乙號百三十一号	本年常備新兵入官病氣等ニテ延期ノ者快氣 次第可願出事	徴兵 乙號百三十一号	酒類醸造季節及ヒ十石以上造高検査官員巡 視ノ事	酒類 乙號百三十一号	長等縣下ニ於テ商人結社開会セシ博覽會延 期ノ事	博覽會 乙號百三十一号	商買組合取締規則施行ニ付各營業ノ者新規 範札書替方可願出事	商事 乙號百三十一号	商買組合取締規則中願書指令ニ雖札下渡方 ノ事	全上 乙號百三十一号	全上ノ事
---------------	--------------------------------	---------------	-------------------	---------------	---	---------------	---------------------	---------------	----	---------------	---	----------------	-------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	----------------------------	----------------	----------------------------------	---------------	---------------------------	---------------	------

千葉縣

犯罪	七葉百五十九号	刑罪処断ノ節用掛差添人ヨリ届出方ノ事
告連	七葉百五十九号	各公立小學校一水縣甲号布達配付ノ事
管見規則	七葉百五十九号	公立小學校々印首長タルモ、管守政々ハキ
地租	七葉百五十二号	地租改正取調トシテ各大區一官發出帳ノ義 全管内二分派出ノ事
公上	七葉百五十九号	地租改正取調トシテ各大區一官發出帳ノ義ニ付 連シタルニ付是細ノ義ハ派出官員一可美合事
戸籍	七葉百五十九号	戸籍上加除異動取扱ノ義ニ付書式交付ノ事
酒類	七葉百五十九号	当年度清酒酒類醸造税残半納九月三十日限 可上納事
職制	七葉百五十九号	縣廳昇退廳時限更定ノ事
医師	七葉百五十九号	従前諸官廳又ハ公立病院一奉職ノ者一試檢 ヲ不與医師免状下付ノ事
兵費	七葉百五十九号	今般戦間ニ依リ傷殘セシ軍人軍屬等件廢養 セシムル事
物産取	七葉百五十九号	物産取調ノ儀毎年一村限調製可差出事
氏費	七葉百五十九号	八年七月ヨリ本年六月迄ノ氏費額取調本月 廿日限可差出事
酒類其他	七葉百五十九号	九年十月ヨリ十年六月迄清酒其外平均相場 確定ニ付心得トシテ通達スヘキ事
管見規則	七葉百五十九号	附屬小學校設立順序假定ノ事

千葉縣

全上	乙第百十五号	公立小學校合併並附屬小學校設立ノ義ニ付 説明方ノ事
全上	乙第百十四号	公立小學校合併手續書ヲ定ムル事
酒類	乙第百十五号	酒類醸造受賣特來十日以得引續キ營業致度 者ハ鑑札相添可續出申
費檢防	乙第百十五号	麻列刺病豫防法心得醫師并一般人民ハ可差 示事
徴夫	乙第百十五号	市備新兵病氣全數ノ者退テ相違返本人出頭 ニ及ハル事
全上	乙第百十八号	七年徴夫ニテ本年市備軍滿役後備軍ハ編入 ノ者割符渡方ノ事
實履	乙第百十九号	實物台帳ハ質品明細帳兼用ノ帳簿記載方 可相違事
千葉縣		
職制	乙第百拾号	正副雇戸長雇外巡回旅費日当假定ノ事
費檢防	乙第百十一号	神奈川縣橋本於テ傳染麻列刺病有之ニ付注 意方ノ事
費檢防	乙第百十二号	千葉師範學校定制并小學校定制中改正ノ事
費檢防	乙第百十三号	麻列刺病流行ニ付乗船ノ旅客上陸検査方 ノ事
學校	乙第百十四号	都合有之醫學講習所当分休業ノ事
火災豫防	乙第百十五号	登戸外十四ノ村ヲ除ク外旅客乗船荷物運者 着船差停ノ事
全上	乙第百十五号	麻列刺病流行ニ付神仙靈水并煎餅安眠ニ感 ヒ豫防法ヲ等關ニ附スハカラル事